

実践例 県立岡本特別支援学校

教科・科目等 自立活動（小学部2学年1名、6学年1名）

本時の目標

表情に注目して気持ちを考えることができる。

育てたい資質・能力等

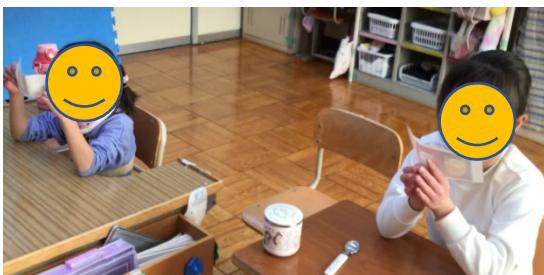
相手の笑顔を見て、うれしい気持ちになっていることに気付くことができる。（感受性）

教材

- ・教科書（こくご☆☆） P20、21
- ・表情のイラスト（うれしい顔・怒った顔・泣いた顔）
- ・優しくされた場面、好きな気持ちを伝えられた場面のイラスト

展開

- 本時の学習内容を知る。
- 「表情のイラスト」を見て、違いを考える。
- 発語の少ない児童は、教師と一緒に「表情のイラスト」と同じ表情をして、表情や気持ちの違いを確認する。
- 「どんなかお」の動画を見ながら、手遊びをする。
- こくご☆☆P20、21 や「気持ちを考えるためのイラスト」を見て、登場人物の気持ちを想像し、「表情のイラスト」から同じ表情を選んだり、言葉で気持ちを表したりする。
- 友達の好きなところを考えて紙に書き、交換し合う。
- 自分の好きなところを伝えられたときに「うれしい気持ち」になっていることを確認する。
- 「表情のイラスト」を確認しながら様々な気持ちがあることを確認したり、友達の好きなところを書いた紙を読んだ感想を発表したりして、学習を振り返る。



学習の様子



校内掲示